

2025 年度

評価のしおり

1 年生



京都市立藤森中学校

国語科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>①音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。</p> <p>②小学校学習指導要領の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。</p> <p>③比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。</p> <p>④古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しみ、古典には様々な種類の作品があることを知ること。</p> <p>⑤言葉の特徴、表現技法や文法など日本語の理解を深め、語彙を広げ語感を磨き、語彙を豊かにすること。字形、大きさ、配列に注意し楷書で書く。楷書と行書の違いを押さえ、行書の基本的な書き方を理解して書くこと。</p>	<p>①日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討し、話の構成を考え、相手の反応を踏まながら、自分の考えがうまく伝わるように表現を工夫して話すこと。必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめること。</p> <p>②日常生活の中から題材を決め、材料を整理し、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割を意識して文章の構成や展開を考えること。読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめ、文章を整え、読み手の助言などを踏まえて自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。</p> <p>③文脈の中の語句の意味を正確に捉え、要旨を把握したり、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを読み取ったりすること。文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。</p>	<p>①国語に対する関心を深め、進んで話し合ったり、工夫して書いたり、読書したりして生活を向上しようとしていること。自主的な調べ学習やノートまとめを進めること。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト 授業課題 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 授業課題 	<ul style="list-style-type: none"> 授業課題 小テスト ふりかえり

社会科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none">世界の諸地域や日本の地理的特色、世界と日本の歴史に関する知識を身につけ、そのしくみを理解している。教科書や資料、授業で学習したことから様々な情報を選び、まとめる技能を身にしている。	<ul style="list-style-type: none">世界の諸地域や日本の地理的特色、世界と日本の歴史について多角的に考察し、思考・判断したことを自分なりの言葉で説明し、表現している。	<ul style="list-style-type: none">世界の諸地域や日本の地理的特色、世界と日本の歴史について意欲的に粘り強く学習しようとしている。また、自身の学習過程を振り返り、学習状況に応じた取り組みを行っている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none">定期テスト小テスト授業成果物	<ul style="list-style-type: none">定期テスト小テスト授業成果物	<ul style="list-style-type: none">定期テスト小テスト授業成果物

数学科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に 取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 正の数・負の数やその四則計算に関する用語・記号について理解している。正の数・負の数の四則計算ができる。 文字の式やその計算に関する用語、記号について理解している。文字の式の計算や式の値を求めることができる。 方程式に関する用語、記号や方程式を解く手順について理解している。方程式を解く手順にしたがって、方程式の解を求めることができる。 比例式を解く手順や、比例・反比例に関する用語、記号について理解している。 図形に関する用語、記号について理解し、平面図形に関する性質について理解している。 空間図形に関する用語、記号について理解し、空間図形に関する性質について理解している。 資料の整理に必要な用語について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 反対の性質をもつ量を正の数・負の数を用いて表すことができ、反対の性質を利用した問題を解くことができる。 数量や数量の間の関係を文字を用いて一般的に表すことができる。 問題解決の場面で数量間の関係をとらえ、方程式や比例式を用いて解くことができる。 さまざまな比例や反比例の事象を、式・グラフ・表に表して考察することができる。 平面図形の性質や公式を利用し、図形の特徴、面積や作図について考察し、表すことができる。 空間図形の性質について論理的に考察する能力や、立体の計量について考察することができる。 資料から集団の特徴をとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの単元で学んだ学習内容のよさに気付いて粘り強く考えようとしている。 それぞれの単元で学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 それぞれの単元で学習した内容を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト 授業課題 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト レポート 授業課題 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 小テスト ノート ファイル レポート 授業課題

理科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none">日常生活や社会と関連付けながら、学習内容を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none">見通しをもって観察、実験を行い、その結果を分析して解釈し、規則性や関係性を見いだして表現している。また、探究の過程を振り返っている。	<ul style="list-style-type: none">事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none">定期テスト（知・技）章テスト実技テスト	<ul style="list-style-type: none">定期テスト（思・判・表）自然研究分野末レポート	<ul style="list-style-type: none">定期テスト直しレポート自然研究

音楽科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<p>表現 歌唱</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(知) 創意工夫を生かした表現で歌うするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能及び全体の響きや各声部の声や音色などを聴きながら他者と合わせて歌唱する技能を身に付けています。(技) <p>表現 器楽</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。(知) 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けています。(技) <p>表現 創作</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について表現したいイメージとかわらせて理解している。(知) 創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な課題や条件に沿った音の選択の技能を身に付けています。(技) <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。(知) 	<p>表現 歌唱・器楽</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽曲の旋律、強弱、形式、速度、リズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、どのような歌唱表現や器楽表現がをするかについて思いや意図をもっている。 <p>表現 創作</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の重なり方や反復・変化・対照などの構成を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いている。 	<p>表現 歌唱・器楽</p> <ul style="list-style-type: none"> 曲想と音楽の構造などとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 <p>表現 創作</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に創作の学習内容に取り組もうとしている。 <p>鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの場面の音楽の特徴及び音の重なりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 演奏観察 実技テスト (正しい運指・正しい音程・声の響きと発声など) ワークシート (プリント・ロイロノート) 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏観察 実技テスト (楽曲にふさわしい音色や表現を工夫できているか) レポート課題 ワークシート (プリント・ロイロノート) (音楽の要素がどのように楽曲を構成し、そこからどのような思いや意図を感じ取れるか) 	<ul style="list-style-type: none"> 演奏観察 実技テスト ワークシート ふりかえりシート

美術科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。	楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養える。
評価方法	<ul style="list-style-type: none">・観察（表現・鑑賞）・小テスト・作品・ワークシート・ロイロノート・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・観察（表現・鑑賞）・小テスト・作品・ワークシート・ロイロノート・ふりかえり	<ul style="list-style-type: none">・観察（表現・鑑賞）・小テスト・作品・ワークシート・ロイロノート・ふりかえり

保健体育科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	運動の合理的な実践に関する具体的な事象や生涯にわたって運動を豊かにするための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けています。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けています。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えています。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えています。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動に進んで取り組もうとしている。また、自己の健康の保持増進についての学習に進んで取り組もうとする。
評価方法	<ul style="list-style-type: none">・観察（授業の様子）・実技テスト・レポート・小テスト・定期テスト	<ul style="list-style-type: none">・観察（授業の様子）・個人カード・レポート・小テスト・定期テスト	<ul style="list-style-type: none">・観察（授業の様子）・個人カード・レポート・小テスト・定期テスト

技術・家庭科（技術分野）

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に 取り組む態度
評価規準	<p>生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。</p> <p>生活や社会で利用されている情報の表現、記録、計算、通信の特性等の原理・法則と、情報のデジタル化や処理の自動化、システム化、情報セキュリティ等に係る基礎的な技術の仕組みおよび情報モラルの必要性について理解している。</p>	<p>生活の中から材料と加工の技術に関する問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けているとともに、材料と加工の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考える力を身に付けている。</p> <p>生活や社会の中から、情報の技術に込められた問題解決の工夫について考える力を身に着けている。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。</p>
評価方法	定期テスト 技能テスト 学習プリント 単元テスト 作品	定期テスト 試作品 学習プリント 作業記録 振り返り レポート	観察（授業の様子） 学習プリント ワークシート 振り返り（授業の点検カード）

技術・家庭科（家庭分野）

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長と家族や家庭生活との関りについて理解しているとともに家族・家庭の基本的な機能について理解している。 衣服と社会生活との関りが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 製作するものに適した材料や縫い方について理解しているとともに用具を安全に適切に使用でき政策ができる。 生活の中で食事が果たす役割について理解している。 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康に良い食習慣について理解している。 栄養素の種類と働きが分かり食品の栄養的な特質について理解している。 中学生の1日に必要な食品の種類や栄養、概量が分かり1日分の献立作成の方法について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択、材料に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 資源や環境に配慮し生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や制作について問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて衣服の選択と手入れについて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 よりよい生活の実現に向けて生活を豊かにするための布を用いた製作について課題の解決に主体的に取り組んだりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 よりよい生活の実現に向けて食事の役割と中学生の栄養の特徴について課題の解決に主体的に取り組んだりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 よりよい生活の実現に向けて中学生に必要な栄養を満たす食事について課題の解決に主体的に取り組んだりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト 作品 小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> 学びのあしあと（ふり返り） ワークシート

英語科

1年生の評価に関する観点・規準

観点	知 知識・技能	思 思考・判断・表現	態 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none">動詞の現在形や過去形、疑問詞などを用いた文の意味を理解している。動詞の現在形や過去形、疑問詞などを用いた文の理解をもとに、日常的な話題について話されたり、書かれた文章から必要な情報を聞いたり、読み取る技能を身につけていく。	<ul style="list-style-type: none">話し手の意向を正確に把握するため、対話や体験談のスピーチなど日常的な話題や海外の生活について話された文章を聞いたり、書かれた文章を読んだりして必要な情報をつかんでいる。おたがいに会話を継続させるために、関心のある事柄や体験談、海外の生活などについて、簡単な語句や文を用いて話したり、相手からの質問に対してその場で適切に応答したり、関連する質問をしたり、書いたりしている。	<ul style="list-style-type: none">英語学習における、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことを主体的に行っている。また、知識・技能習得のための学習を主体的に行っている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none">定期テスト小テスト休み明けテストパフォーマンステスト授業での課題	<ul style="list-style-type: none">定期テストパフォーマンステスト授業での課題	<ul style="list-style-type: none">定期テスト授業のふりかえりテストのふりかえりパフォーマンステストの準備、ふりかえり授業での課題